

令和8年度
シラバス
～学習の手引き～
〈 3 学年 〉



北海道静内農業高等学校

校 訓

自 尊 独 立

開校式辞の中で、本校生徒としてこれから学業に励むための基本姿勢として「自分のことは自分で処理する」ことを強く訴えました。当たり前のことですが、なかなかできないことです。誰かがやらなければならないことがあるとするならば、進んで自分がそれに当たろうとする心の姿勢が大切なのです。苦しくとも辛くとも、正しいこと、心の糧となることは歯を食いしばってでも、自分でやりとげる姿勢をもってほしい。本校3カ年の生活で是非そうした心の姿勢を学び取ってほしいと述べました。

校訓、「自尊独立」は、諸君たち一人一人の心の姿勢を求めているのです。諸君は、やがて社会人・職業人となるのです。諸君を信頼するに足る得難い人材とするのは、この心の姿勢であります。

〔北海道静内農業高等学校初代校長 清水小十先生の落成式挨拶より抜粋〕

校 章



この校章は昭和16年、北海道庁立静内農業学校が創立したときにつくられたものです。昭和23年学制改革により、校名変更に伴い校章も変りました。

その後、昭和53年、本校が北海道静内農業高等学校として、北海道静内高等学校からの分離独立に際し、本校の源流を表わすにふさわしい校章として再び制定されました。

- 1 農の一字をかこみ内に向い対にある稲穂は生徒一人一人の充実した成長を期待し、互いの協力により豊かな結実をもたらす農業のイメージを表しています。
- 2 星は銀色に輝き未来への希望を表しています。北の空に輝く星のように自分の目標をしっかりとち、それに向かい着実にすすむ意欲あふれる生徒を期待しています。

目 次

3 学年

【学科共通】

国 語 教 養	Ⅲ-01
歴 史 総 合	Ⅲ-02
科 学 と 人 間 生 活	Ⅲ-03
体 育	Ⅲ-04
課 題 研 究	Ⅲ-05
綜 合 実 習	Ⅲ-06
産 業 社 会 と 人 間	Ⅲ-07
[選択] 数 学 Ⅱ	Ⅲ-08
[選択] 生 物	Ⅲ-09
[選択] 生 涯 ス ポ ー ツ	Ⅲ-10
[選択] ス マ ー ト 農 業	Ⅲ-11
[選択] 時 事 問 題 研 究	Ⅲ-12
[選択] 数 学 B	Ⅲ-13
[選択] グローバルスタディーズ	Ⅲ-14
[選択] デュアル派遣実習	Ⅲ-15
[選択] ライフマネジメント	Ⅲ-16
[選択] 食 品 微 生 物	Ⅲ-17
[選択] 理 数 探 究	Ⅲ-18
[選択] アドバンストイングリッシュ	Ⅲ-19
[選択] 栽 培 と 環 境	Ⅲ-20
[選択] 飼 育 と 環 境	Ⅲ-21

【食品科学科】

食 品 製 造	Ⅲ-22
食 品 化 学	Ⅲ-23
食 品 流 通	Ⅲ-24
商 品 開 発 Ⅱ	Ⅲ-25

【生産科学科】

農 業 経 営	Ⅲ-26
[選択] 野 菜	Ⅲ-27
[選択] 草 花	Ⅲ-28
[選択] 馬 学	Ⅲ-29
[選択] 馬 利 用 学	Ⅲ-30

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
国語教養	2	3年食品科学科 3年生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	7	○言葉と表記/整った文を書く/相手に応じた言葉遣い	○	○	○	【知】:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思】:自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫すること。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
5	7	○わかりやすい文を書く/文のつながり方	○	○	○	【知】:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。 【思】:自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫すること。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
6	8	○自己紹介ゲーム/言葉のストレッチ体操/絵や写真を見て書く/マイニュース記事を書こう	○	○	○	【知】:言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。 【思】:目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
7	7	○小論文とは何か/反論を想定して書く/文章を読み取って書く	○	○	○	【知】:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。 【思】:読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫すること。 【態】粘り強く適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考える過程の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
8	6	○統計資料を読み取って書く/発想を広げて書く/レポートを書く/論文を書くために	○	○	○	【知】:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。 【思】:自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫すること。 【態】粘り強く自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなどの過程の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
9	7	○自分を見つめて/効果的な自己PR/将来の自分を考えよう	○	○	○	【知】:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思】:目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
10	8	○志望理由を書こう/自己推薦書や学修計画書を書く/面接にチャレンジ	○	○	○	【知】:話し言葉と書き言葉の特徴や役割,表現の特色について理解を深め,伝え合う目的や場面,相手,手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し,使い分けよう。 【思】:相手の反応に応じて言葉を選んだり,場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど,相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。 【態】粘り強く相手の反応に応じて言葉を選んだり,場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなどの過程の中で,自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
11	8	○通信文を使い分ける/電話を使いこなす/電子メールを活用しよう	○	○	○	【知】:話し言葉と書き言葉の特徴や役割,表現の特色について理解を深め,伝え合う目的や場面,相手,手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し,使い分けよう。 【思】:自分の思いや考えを明確にし,事象を的確に描写したり説明したりするなど,表現の仕方を工夫すること。 【態】粘り強く,自分の思いや考えを明確にし,事象を的確に描写したり説明したりするなどの過程の中で,自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
12	7	○ネット社会との付き合い/ネットを活用した情報収集/メディアと情報	○	○	○	【知】:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し,話や文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思】:論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き,話の内容や構成,論理の展開,表現の仕方を評価するとともに,聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりすること。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
1	5	○相手や場面に応じた会話/建設的な議論の進め方/スピーチをしよう/プレゼンテーションの工夫	○	○	○	【知】:省略や反復などの表現の技法について理解を深めよう。 【思】:自分の主張の合理性が伝わるよう,適切な根拠を効果的に用いるとともに,相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど,話の構成や展開を工夫すること。 【態】粘り強く,話の内容や構成,論理の展開,表現の仕方を評価するとともに,聞き取った情報を吟味するなどの過程の中で,自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう
目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

②数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
歴史総合	2	3年食品科学科 3年生産科学科	私たちの歴史総合 (清水書院)	私たちの歴史総合 ワークノート (清水書院)

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる所事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる所事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション					
4	5	第1編 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料 1:資料を読み取ってみよう 2:歴史叙述とは何か考えてみよう	○	○	○	【知】資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思】資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
4 5	1 4	第2編 近代化と私たち 1章 18世紀までの世界 1:近世の日本と世界 2:18世紀の中国とアジア貿易 3:18世紀のイギリスとアジア、アフリカとの貿易	○	○	○	【知】18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 【思】18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、各地域同士の関係、欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
5 6	4 1	2章 工業化と世界市場の形成 1:産業革命による経済発展と社会の変化 2:世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 3:日本の開国とその影響	○	○	○	【知】欧米の市民革命、産業革命などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思】産業革命の影響などに着目し、主題を設定し、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
6	5	3章 国民国家と立憲体制 1:二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 2:国民国家の形成と国民統合 3:明治維新の日本と世界 4:近代国家への移行と憲法の制定	○	○	○	【知】18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向を基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
6 7	2 4	4章 帝国主義とアジア、アフリカの変容 1:列強による帝国主義 2:アジア、アフリカの抵抗運動 3:日清戦争とその影響 4:日露戦争	○	○	○	【知】日本の明治維新や日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思】帝国主義政策の背景、帝国主義政策が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
8 9	4 2	第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と国際社会 1: 第一次世界大戦 2: 社会主義革命 3: 国際協調体制 4: アジアの民族運動	○	○	○	【知】第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の変容を理解している。 【思】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、第一次世界大戦の性格と惨禍などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
9	3	2章 1920年代の世界と大衆の時代の到来 1: 大衆の政治参加 2: 女性の社会参加 3: 大衆社会の形成	○	○	○	【知】大衆の政治参加と女性の地位向上、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思】第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
9 10	3 3	3章 国際協調の挫折と2度目の世界大戦 1: 世界恐慌 2: ファシズムの台頭 3: 日本の大陸進出 4: 第二次世界大戦	○	○	○	【知】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際狭量体制の動揺を理解している。 【思】各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
10 11	5 3	4章 世界大戦がもたらしたもの 1: アジア太平洋戦争 2: 戦争が変えた人々の暮らし 3: 戦後世界の新たな枠組み 4: 敗戦後の日本とアジア 5: 冷戦下の東アジア	○	○	○	【知】第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会復帰を理解している。 【思】第二次世界大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
11	4	第4編 グローバル化と私たち 1章 冷戦と国際政治 1: 脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 2: 冷戦下の地域紛争 3: 先進国の政治と社会運動 4: 核兵器の脅威と核軍縮	○	○	○	【知】冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向などを基に、国際政治の変容を理解している。 【思】冷戦が各国経済に及ぼした影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
12	5	2章 世界経済の拡大と日本 1: 西ヨーロッパ、東アジアの地域連携 2: 戦後の日本とアジア諸国との関係 3: 高度経済成長 4: 石油危機と価値観の転換 5: アジアの成長	○	○	○	【知】日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思】市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート
12 1	3 7	3章 冷戦終結とその後の世界 1: 冷戦の終結 2: 民主化の進展と冷戦終結後の日本 3: 市場開放と経済の自由化 4: 地域統合の進展と課題 5: 情報通信技術の発達 6: 冷戦終結後の紛争と平和への取り組み	○	○	○	【知】冷戦の終結、民主化の進展などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思】冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	・予習テスト ・ワーク ・配布課題 ・ファイル ・振り返りシート

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
を目的とする。

学習指導要領の各科目に記載している「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう
目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

②数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することが	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～している。」及び「～できる。」に統一してください。「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しようとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
科学と人間生活	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	科学と人間生活 新訂版(実教出版)	科学と人間生活 新訂版 学習ノート

1 科目の目標

自然と人間生活との関わり、及び科学技術が人間生活に与えてきた影響について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

①自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。

②自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見だし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。

③自然と人間生活との関わり及び科学が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求することができる。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	7	序編 科学技術の発展	○	○	○	<p>【知】科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している</p> <p>【思】現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。</p> <p>【態】科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わって発展してきたか、意欲的に学習しようとしている。</p>	<p>観察・実験</p> <p>ワークシート</p> <p>単元テスト</p>
5 ～ 6	15	2章 物質の科学 1節 材料とその再利用	○	○	○	<p>【知】それぞれの材料の特徴を把握し、安全で快適な生活のための利用法を理解している。</p> <p>【思】天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。</p> <p>【態】私たちの生活に役立っている金属・プラスチック・セラミックスについて、どのような性質が製品として利用されているかを学び、さらによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>単元テスト</p>

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
7 ～ 9	15	3章 生命の科学 1節 ヒトの生命現象	○	○	○	<p>【知】・DNAにおける塩基の相補性を理解するとともに、DNAの塩基配列によってつくられるたんぱく質のアミノ酸配列が決まることを理解している。</p> <p>・抗体による免疫の概要を理解し、予防接種の意義を説明することができる。</p> <p>【思】血糖濃度やホルモンの分泌量の変化のグラフを読み取り、ホルモンによる血糖濃度の調節について考察することができる。</p> <p>【態】ヒトの生命現象と生活との関連に興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。</p>	観察 ワークシート 単元テスト
10 ～ 11	15	4章 光や熱の科学 1節 熱の性質とその利用	○	○	○	<p>【知】エネルギーが変換することと、保存することを理解できる。また、その性質を利用して科学技術が発展したことを理解している。</p> <p>【思】人間生活の中に、エネルギーに関する科学技術を見出すことができ、エネルギーが有効に利用されているかを総合的に判断して表現することができる。</p> <p>【態】自然界に見られる熱に関する現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。</p>	観察 ワークシート 単元テスト
12 ～ 1	15	5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球	○	○	○	<p>【知】太陽や月などの運行の周期性が、時や暦など人間生活と深く関わっていること、太陽の放射エネルギーが生命の星としての地球の環境に影響していることを理解している。</p> <p>【思】地球が生命の存在できる環境であることを、太陽系の広がりや構造、太陽の放射エネルギーなどから総合的に判断して考察し、表現することができる。</p> <p>【態】太陽が地球に及ぼす影響や、太陽系の広がりや構造について関心を持ち、太陽系における地球について科学的な見方・考え方を身につけようとする。</p>	観察 ワークシート 単元テスト
1	3	終章 これからの科学と人間生活 ・科学が人間生活に与える影響	○	○	○	<p>【知】科学と人間生活の間に現在生まれている新しい課題に関心を持ち、具体例を考え、研究しようとする。</p> <p>【思】科学と人間生活に関する課題について具体例をあげ、その課題の研究を通して今後の科学研究や人間生活のあり方について考え、それを表現することができる。</p> <p>【態】科学と人間生活の間に現在生まれている新しい課題に関心を持ち、具体例を考え、研究しようとする。</p>	観察 ワークシート 単元テスト

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
体育	3	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	ステップアップ高校スポーツ、現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート (大修館書店)

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成すること。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についての理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	8	・体づくり運動 ア、体ほぐしの運動 イ、実生活に生かす運動の計画 評価観点→【知】:知識・運動	○	○	○	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てている。 【思】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート
5 ～ 7	15 15	選択Ⅰ(球技) ベースボール型 ソフトボール ゴール型 バasketボール 選択Ⅱ(球技) ゴール型 サッカー ネット型 バレーボール	○	○	○	※1 球技 【知・技】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開している。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート
8 ～ 9	15	・陸上競技 短距離走、長距離走、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げ	○	○	○	【知・技】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己に適したペースで走ることができている。 【思】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【態】主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	・夏季球技大会	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
10 ～ 11	15	選択Ⅲ(球技) ネット型 テニス ネット型 卓球	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
11 ～ 12	15	選択Ⅳ(球技) ネット型 バレーボール ターゲット型 ボッチャ	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
12	8	・冬季球技大会	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
通 年	6	・体育理論 2. 運動やスポーツの効果的な 学習の仕方	○	○	○	【知】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 【思】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝えている。 【態】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
課題研究	3	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。

(2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通年	95	<p>○個人プロジェクト活動(4月～12月)</p> <p>Plan 計画 日高の農業や産業など地域の現状を把握して問題を抽出し、学習目的と達成目標を明確にして、研究班として取り組む課題から個々に取り組む課題を設定する。 仮説を設定し、課題解決方法の手順を考えて目標達成のための計画を立てる。</p> <p>Do 実行 計画に従って学校内外で実験・実習、調査、観察、記録などを継続的に行うとともに、実践記録や実験等で得られたデータの処理と分析・考察を行う。</p> <p>Check 評価 取り組みの内容や結果をまとめ、評価する。</p> <p>Action 改善 分析・考察の結果を基に、次年度に向けてどこをどのように改善すればいいか検証する。</p> <p>☆食品科学科研究班☆ 肉加工研究班, 農産加工研究班, 乳加工研究班</p> <p>☆生産科学科研究班☆ 軽種馬研究班, 馬利用研究班, 野菜研究班, 草花研究班</p> <p>○農業クラブ活動 プロジェクト計画発表会 個人プロジェクト発表会 校内実績発表会</p>	○	○	○	<p>【態】:所属する研究班で設定した農業に関する課題について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【思】:所属する研究班で設定した農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【知】:所属する研究班で設定した農業に関する課題の基礎的な技術を身に付け、自ら設定した農業に関する課題のプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用しているとともに、農業に関する課題の基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>【態】 授業態度 リフレクションシート 個人プロジェクト資料</p> <p>【思】 活動記録簿 プロジェクト報告書</p> <p>【知】 ワークシート まとめ資料</p>

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材

1 学習の到達目標

--

2 評価の観点・方法

評価の観点	評価規準	配分(%)

3 年間学習計画

評価の観点→【 】: 、【 】: 、【 】: 、【 】:

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
4								
5								
6								
7								
8								

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	考	技	知		
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
総合実習	1	3年・食品科学科 3年・生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通年	24	<p>時間外実習 (研究班実習) 課題の解決に向けた研究班実習において、思考を深め、合理的に判断し、適切に表現する。</p> <p>課題の解決に向けた研究班実習において、実践的な技能を身に付け、適切に活用する。</p> <p>課題の解決に向けた研究班実習で実践的な知識を身に付け、学習課題について適切に理解する。</p>	○	○	○	<p>【態】:自ら設定した課題について、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【思】:自ら設定した課題の解決を目指して思考を深め、調査・研究・実験の取り組みを適切に判断するとともに、科学的に捉えて表現する能力を身に付けている。</p> <p>【知】:自ら設定した課題の基礎的な技術を身に付け、プロジェクト学習に必要な技術を適切に活用し、結果を正確に理解することができる。</p>	<p>【知】 (1) 実習レポート (2) 制作物</p>
7	4	<p>(夏季実習) 生産・食品製造の各分野の実習において、実践的な技能を身に付け、適切に活用する。</p>	○	○	○	<p>【態】:生産・食品製造の各分野の実習について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組む実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【思】:生産・食品製造の各分野の実習で改善を図る思考を深め、課題を適切に判断し、科学的に捉えて合理的に解決し表現している。</p>	<p>【思】 (1) 実習レポート (2) 授業プリント</p>
4	4	<p>(春季実習) 生産・食品製造の各分野の実習において、実践的な技能を身に付け、適切に活用する。</p>	○	○	○	<p>【技】:生産・食品製造の各分野の実習で総合的な技術を身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な技術と知識を身に付けている。</p>	<p>【態】 (1) 行動観察</p>

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
産業社会と人間	1	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

人間の生き方としての探求を通して、職業を選択し、決定する場合に、必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培うことや現実の産業社会やその中で自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成することをねらいとしている。

(1) 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を身につけている(職業と生活)

(2) 我が国の産業の発展とそれがもたらしている社会の変化について考えている(我が国の産業と社会の変化)

(3) 自己の将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた履修計画を作成する(進路と自己実現)

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識及び技能 【思】:思考力,判断力,表現力等 【態】:学びに向かう力,人間性等

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション コース別オリエンテーション				【知識・技能】 ①職業の種類,特徴や役割,職業生活について求められる能力や態度を理解している。 ②課題の発見と解決に必要なコミュニケーション,情報活用,表現の方法を理解し技能を身に付けている。 ③望ましい勤労観,職業観を身につけ自らが社会で果たしていく役割について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①資料や情報を活用し,仮説を立てた上で物事を検証している。 ②目的に応じて情報収集の手段を選択し,課題解決を目指して客観的な根拠を基に分析している。 ③学習した内容を振り返り,まとめ,他者に伝わりやすいよう論理的に説明,表現している。 【学びに向かう人間性】 ①自己を見つめ,自分の個性や特徴に向き合った上で,将来的な自己の在り方生き方を考え,進路実現に取り組もうとしている。 ②多様な意見を受け入れ尊重し,協働して課題の解決に取り組もうとしている。 ③社会参画・貢献の視点で,自己の在り方生き方を考えようとしている。	行動観察 ワークシート
	3	自己理解①(適性検査)		②			
5	2	自己理解②(これからの人生)			①		
6		進学コース 就職コース					
	1	学校選びのポイント 企業選びのポイント	②				
	3	学部学問調べ 合同企業説明会	①		① ③		
7	2	大学調べ 求人票の見方	②				
8	6	キャリアステップ		① ②	① ③		
9	5	小論文の書き方 企業研究 履歴書作成のポイント	① ③				
10	2	面接対策講座		②	②		
11	3	合格内定者指導	③	① ③			
12	2	自分の将来とお金		①	①		
1	1	スーツ着こなし講座			②		
	2	後輩へのメッセージ		③	③		

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を多面的に考察することができ る。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学Ⅱ	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	新編数学Ⅱ (実教出版)	ラウンドノート数学Ⅱ (実教出版)

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) いろいろな式、図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	13	3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角 2 弧度法 3 三角関数				【態】:弧度法の考え方に関心をもち、扇形の面積などを求める際に積極的に活用しようとする。 【知】:一般角や弧度法の概念を認識できる。 【思】:三角関数の周期や相互関係を定義や基本性質を活用して調べることができる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
5		4 三角関数の性質 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式・不等式	○	○	○	【思】:三角関数のグラフを活用して、周期や最大・最小などの基本的な性格を認識できる。	
6	8	2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用	○	○		【知】:三角関数の値や三角関数に関する方程式、不等式の解を加法定理を用いて求めることができる。 【思】三角関数の合成について理解できる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
7	7	4章 指数関数・対数関数 1 指数の拡張 2 指数関数	○	○		【知】:拡張された指数の意味や指数法則を用いて、指数計算ができる。 【思】:指数関数のグラフの増加・減少の特徴を適切に活用できる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
8	11	2節 対数関数 1 対数とその性質				【思】:対数を含む方程式・不等式を解くことができる。	行動観察 ワークシート
9		2 対数関数		○	○	【態】:指数と対数の関係に関心をもち、対数の基本性質を調べようとする。	単元テスト
10	8	5章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率と微分係数 2 導関数 3 接線の方程式	○		○	【知】:微分係数の意味を理解し、接線の方程式を求める公式を身に付けている。 【態】平均変化率、微分係数、導関数の概念を認識できる。	行動観察 ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
11	10	2節 微分法の応用 1 関数の増減と極大・極小 2 方程式・不等式への応用		○	○	【思】:導関数を活用して、関数の増減を調べる考え方を理解できる。 【態】:導関数を活用して、関数の増加,減少を調べる考え方に興味をもち,その考え方を活用してグラフの概形を描こうとする。	行動観察 ワークシート 単元テスト
12 1	13	3節 積分法 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	○		○	【知】:微分の逆演算として不定積分を導く考え方を理解できる。 【態】:微分と積分の関係に関心をもち,原始関数を求めようとする。	行動観察 ワークシート 単元テスト

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
を目的とする。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	1 実数 2 根号を含む式の計算				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【思】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【態】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
		3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を多面的に考察することができ る。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
生物	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	生物 (実教出版)	

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

②観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

③生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法				
			知	思	態						
4 ～ 9	35	第4章 生物の環境応答 1節 動物の反応	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・眼を中心とした受容器の構造と機能に関心をもって学習し、光量調節や遠近調節などのしくみを説明できる。 ・神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達関係の学習から、動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。 ・脳などの中枢神経系の働きを理解し、脊髄動物のからだがかつて調節されていることを理解している。 ・骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・課題 				
		2節 動物の行動				○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の行動は、刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを理解している。 ・学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・課題
		3節 植物の成長と環境応答				○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。 ・伸長成長や、発芽、器官分化などの現象が巧妙に制御されていること、それらがさまざまな実験によって明らかにされてきたことを理解し、科学的に判断できる。 ・植物が外部の環境に影響されてみせる様々な現象を、屈性などの伸長成長や、発芽、花芽形成などの器官分化などの学習を通じて身につけている。 ・植物の場合は、植物ホルモンの働きなどによって、環境に対する反応や調節が行われることを具体的に理解している。 ・植物の生殖細胞がつくられる過程を理解している。 ・代表的な植物である被子植物などについて、配偶子のでき方を理解している。また、種子の形成に関連させて胚の発生の過程も理解している。 	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
10 ～ 2	35	第5章 生態と環境 1節 個体群と生物群集	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。 ・ウキクサを用いた実験から、個体群がどのように成長するかを理解することができる。また、個体群の密度の変化が、個体数や個体の形質に影響を及ぼすことを理解している。 ・2種の生物の個体数変動のグラフから、被食者と捕食者の個体数が周期的に変動することを見だして理解することができる。 ・異なる2種の個体群間の関係、さらに、より多くの個体群から形成されている生物群集の構造や働きとその変動を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・課題
		2節 動物の行動				○	

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
生涯スポーツ	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	ステップアップ高校スポーツ、現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート (大修館書店)

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成すること。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についての理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション				※1 球技	観察 レポート ワークシート
5	12	レクリエーションスポーツに挑戦しよう ソフトバレーボール ポートボール キックベース ティーボール グラウンドゴルフ など	○	○	○	【知・技】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開している。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	
6	12	ゆるスポーツに挑戦しよう 500歩サッカー ベビーバスケ スポーツかるた ゾンビサッカー など	○	○	○	※1 球技 の通り	
7							
8	12	パラリンピック種目に挑戦しよう シッティングバレーボール ゴールボール ブラインドフットボール ボッチャ など	○	○	○	※1 球技の通り	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10	12	アダプテッドスポーツを 考案しよう これまでの学習を踏まえて、 新たなアダプテッドスポーツ を考案する。 (障がいの有無や性別、年齢を 超えて、全ての人々がスポーツ 文化を共有しようという考えから 生まれたスポーツ)	○	○	○	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てている。 【思】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保しようとしている。	観察 レポート ワークシート
11							
12	12	スポーツ大会を企画・運営しよう これまでの種目から選択し、 スポーツ大会を開催する。 ・運営担当 ・競技担当 ・広報担当 など、分担して企画・運営を 行う。	○	○	○	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てている。 【思】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保しようとしている。	観察 レポート ワークシート
1							
2	9	スポーツ大会の実施 活動のまとめ 生涯、スポーツに親しむ態度を 養えるようなポスター掲示	○	○	○	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てている。 【思】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保しようとしている。	観察 レポート ワークシート
3							

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目して多面的に考察することができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
スマート農業	2	3年 選択C	なし	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、スマート農業を活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) スマート農業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) スマート農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) スマート農業について特性を理解し、効果的な利用へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 5	14	スマート農業の基礎 1 スマート農業が求められる背景 2 位置情報の発展 3 センサーと安全機能 4 クラウド型データベースの活用 5 生成AIを活用したスマート農業	○ ○ ○	○ ○	○ ○	【知】:スマート農業の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
6 ～ 9	28	データの利活用 1 マイクロコンピューターの基礎 2 マイクロコンピューターの活用 3 IOTの実践 4 可変施肥技術 5 ピンポイント防除	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知】:スマート農業にかかわるデータの利活用について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業にかかわるデータ活用の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業にかかわるデータの利活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
10	10	作業の自動化 1 自動化技術 2 遠隔監視システム	○ ○	○	○	【知】:スマート農業の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
11	8	スマート農業の農作業安全 1 危険予測 2 安全管理の具体的な方策	○	○	○	【知】:スマート農業の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
12	6	経営効果 ・費用対効果の検証	○	○	○	【知】:スマート農業の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
1	4	国内外のスマート農業 ・海外のスマート農業の現状 ・持続可能な農業システムの確立	○	○	○	【知】:スマート農業の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:スマート農業の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:スマート農業の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学の基礎的な概念や原理・法則を体系的に理解的に表現・処理したりする技能を身に付けるように目指す。

学習指導要領の各科目に記載している「1 目標」をコピー＆ペースト

①数
する
にす
②命
要素
的

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

に応じて適切に変形したりする力、図形の構成を考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
5	7	2節 実数				数を実数まで拡張する意義を理解すると、簡単な無理数の計算をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
6	6	3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:2次関数の値の変化やグラフの特徴に	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～している。」及び「～できる。」に統一してください。「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しようとしている。」に統一してください。

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
時事問題研究	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

社会的な見方・考え方を生かし、現代社会における課題をより具体的かつ多面的・多角的な視点に立って日本や世界のあり方に関する理解を深めさせ、よりよい社会のあり方や実現に向けて解決すべき課題を発見し、実現可能かつ公正・公平な解決手段を図るための資質・能力を育成する。

(1) 現代社会の具体的な課題に関わる基本的な事柄や、本質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけるとともに、それらに関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

(2) 現代社会の具体的な課題に関する原因や、派生する課題を見出し、望ましい解決方法について広い視点から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正・公平に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

(3) 現代社会の具体的な課題について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション					
	7	要約・意見表明の練習		○	○	【思】様々な手法を用いて、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用しながら、自分の考えをまとめて表現することができている。 【態】文章のまとめ方や、建設的な議論の方法を理解しようとしている。	・課題提出(思) ・振り返りシート(態)
5	10	政治に関する時事問題 1 民主主義を実現するためにマスメディアとどう関わるべきか? 2 日本国憲法は国民のよりよい生活を保障しているか? 3 これからの日米同盟はどうあるべきか? 4 地方自治の課題を分析して、解決策を考察しよう	○	○	○	【知】現代の政治に関する基本的な事柄や、本質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。 【思】現代の政治に関わる課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】現代の政治について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、良識ある公民として課題を自分事のように考察しようとしている。	・単元テスト(知) ・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思) ・振り返りシート(態)
6							
	10	経済に関する時事問題 1 日本の物価はどのように変化していくと予想できるか? 2 米中の経済状況がどのような影響を日本に与えるのか? 3 AIによって、日本の産業はどのような変化をするだろうか? 4 脱炭素社会を実現させるにはどうすれば良いのだろうか?	○	○	○	【知】現代の経済に関する基本的な事柄や、本質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。 【思】現代の経済に関わる課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】現代の経済について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、良識ある公民として課題を自分事のように考察しようとしている。	・単元テスト(知) ・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思) ・振り返りシート(態)
7							
8	12	中間レポート作成				【思】政治・経済と自分に興味関心のある事柄に関わる時事問題の課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。 【態】これまでに学習した時事問題について、意欲的に課題を追究するとともに、課題の解決に向けて自分事として考察しようとしている。	・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思)
～							
9		1 課題の設定 2 情報収集 3 整理・分析 4 発表		○	○		・振り返りシート(態)

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
10 11	10	農水産学・医学に関する時事問題 1 農業における、カーボンニュートラルはどのようにすれば実現できるか？ 2 食糧自給率の向上に向けて、どのような課題があるのだろうか？ 3 アニマルウェルフェアのあり方とは何だろうか？ 4 高齢化社会における医療にはどのような課題があるのだろうか？	○	○	○	【知】現代の農水産学・医学に関する基本的な事柄や、本質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。 【思】現代の農水産学・医学に関わる課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】現代の農水産学・医学について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、良識ある公民として課題を自分事のように考察しようとしている。	・単元テスト(知) ・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思) ・振り返りシート(態)
	8	社会学に関する時事問題 1 こどもが抱える課題を分析し、考察しよう 2 ジェンダー平等はどうすれば実現するのだろうか？	○	○	○	【知】現代の社会学に関する基本的な事柄や、本質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。 【思】現代の社会学に関わる課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】現代の社会学について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、良識ある公民として課題を自分事のように考察しようとしている。	・単元テスト(知) ・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思) ・振り返りシート(態)
12 ～ 1	12	自由テーマでの時事問題研究 1 課題の設定 2 情報収集 3 整理・分析 4 発表		○	○	【思】時事問題に関わる課題を見出し、望ましい解決について多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。 【態】現代社会の具体的な時事問題について、意欲的に課題を追究するとともに、課題の解決に向けて自分事として考察しようとしている。	・レポート提出(思) ・プレゼンテーション(思) ・振り返りシート(態)

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を数と式の考えを用いて考察するこ とができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学B	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	新編数学B (実教出版)	ラウンドノート 数学B (実教出版)

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

(1) 数列

統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 統計的な推測

離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3) 数学と社会生活

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。この科目は以上の(1)、(2)、(3)の3つの内容で構成されているが、本校では、このうちの{(1)、(2)}を指導する。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	8	1章 数列 1節 数列とその和 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和				【知】:数列の一般項の意味を理解できる。 【思】:数列の一般項 a_n の意味を理解し、等差数列や等比数列の性質に着目して公式を導くことができる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
5		4 等比数列 5 等比数列の和	○	○			
6	14	2節 いろいろな数列 1 数列の和とΣ記号 2 階差数列 3 数列の和と一般項	○	○	○	【知】:記号Σの意味を理解し、和の公式を理解している。 【思】:階差数列を活用して一般項を求める考え方を考察することができる。 【態】:数列の一般項や和の記号Σに関心をもち、数列を身近な問題の解決に活用しようとする。	行動観察 ワークシート 単元テスト
7	10	3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法		○	○	【思】:数学的帰納法の意味と考え方を認識し、自然数を用いた命題の考察に活用できる。 【態】:漸化式に関心をもち、数列を漸化式を用いて表現しようとする。	行動観察 ワークシート 単元テスト
9	10	2章 確率分布と統計的な推測 1節 確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積	○		○	【知】:確率変数や確率分布の定義を理解して確率分布の表をつくることができる。 【態】:確率変数の平均、分散、標準偏差に関心をもち、問題解決に取り組もうとする。	行動観察 ワークシート 単元テスト
10	16	2節 二項分布と正規分布 1 二項分布				【思】:標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。	行動観察 ワークシート
11		2 正規分布		○	○	【態】:日常生活の中での二項分布の例を調べようとする。	単元テスト
12	12	3節 統計的な推測 1 母集団と標本 2 標本平均の分布	○	○	○	【知】:母集団分布からその母平均、母分散、母標準偏差を求めることができる。 【思】:標本調査の必要性とその考え方を認識できる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
1		3 統計的な推測				【態】:無作為抽出や無作為標本について、その仕組みを調べようとする。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的意図をもつて学習することを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥0令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解	○	○	○	【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式	○	○	○	【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思】:1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合	○	○	○	【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	○	○	○	【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～している。」及び「～できる。」に統一してください。「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しようとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材			
(選択D)グローバル・スタ ディーズ	2	3年 食品科学科(選択者) 3年 生産科学科(選択者)	なし	なし			
1 科目の目標							
<p>(1) 知識・技能 英語による資料や情報を通して、世界の文化、社会、学校生活などに関する基本的な知識を理解するとともに、情報を収集・整理する技能を身に付ける。また、英語による調査活動や発表活動を通して、調べた内容を簡潔にまとめ、伝えるための基本的な言語技能を身に付ける。</p> <p>(2) 思考・判断・表現 世界の文化や社会的な事柄について、日本との共通点や相違点に着目しながら考察し、得られた情報を比較・分析する力を養う。また、調査した内容や自分の考えを論理的に整理し、英語を用いて発表したり意見を述べたりする力を育成する。</p> <p>(3) 学びに向かう力・人間性等 世界の文化や社会に対する関心を高め、主体的に課題を設定し探究しようとする態度を養う。また、他者とのコミュニケーションや協働的な学習を通して、異なる文化や価値観を尊重しながら学びを深めようとする態度を育成する。</p>							
2 年間学習計画							
評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度							
月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	8	Introduction to Global Studies 授業の目的理解、世界の食文化・農業・学校生活の紹介、英語での自己紹介、興味関心の整理	○			知識・技能:世界の文化や学校生活について基本的事項を理解する。 思考・判断・表現:興味のあるテーマについて簡単な英語で表現できる。 主体的態度:世界の文化や社会に関心をもち、活動に参加する。	リサーチノート ポスター制作 調査記録(海外学校調査・インタビュー記録)
5	8	Research Topic and Questions 個人プロジェクトテーマ決定、Research Question作成、テーマの背景調査	○		○	知識・技能:探究テーマに関する基本情報を理解する。 思考・判断・表現:探究の問いを設定し、自分の考えを説明できる。 主体的態度:関心に基づいて主体的にテーマを選択する。	発表資料(スライド等) ポスターセッション ミニレポート プレゼンテーション
6	8	Poster Project テーマの基本情報整理、ポスター作成(Topic / Background / Research Question)、ポスターセッション	○		○	知識・技能:調査内容を整理しポスターとして表現できる。 思考・判断・表現:自分のテーマを英語で説明できる。 主体的態度:積極的に発表活動に取り組む。	発表時の質疑応答 探究活動への取り組み状況 グループ・交流活動への参加 学習振り返りシート
7	7	International and Local Research 海外学校調査(米・仏・韓・豪)、地域外国人インタビュー、質問作成・調査実施	○		○	知識・技能:英語で質問を作成し調査を行うことができる。 思考・判断・表現:調査結果を整理し説明できる。 主体的態度:他者とのコミュニケーションに積極的に取り組む。	自己評価・相互評価
8	4	Data Organization and Comparison 調査結果の整理、日本と海外の比較(食文化・学校生活など)				知識・技能:調査データを整理し比較表を作成できる。 思考・判断・表現:日本と海外の違いを説明できる。 主体的態度:自分の調査を継続して進める。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	Analysis and Opinion 調査結果の分析、原因・影響の検討、英語による短いレポート作成	○		○	知識・技能：調査結果をもとに内容を理解する。 思考・判断・表現：自分の意見を英語で表現できる。 主体的態度：探究課題を深く考察しようとする。	リサーチノート ポスター制作 調査記録(海外学校調査・インタビュー記録) 発表資料(スライド等)
10	9	Presentation Preparation プレゼン構成、スライド作成、発表原稿作成	○		○	知識・技能：発表資料を適切に作成できる。 思考・判断・表現：調査結果を論理的にまとめる。 主体的態度：発表準備に主体的に取り組む。	ポスターセッション ミニレポート プレゼンテーション 発表時の質疑応答
11	8	Presentation Practice プレゼン練習、相互評価、内容改善	○		○	知識・技能：英語で発表するための表現を身につける。 思考・判断・表現：他者の意見を踏まえて内容を改善できる。 主体的態度：積極的に発表活動に参加する。	探究活動への取り組み状況 グループ・交流活動への参加 学習振り返りシート 自己評価・相互評価
12	6	Final Presentation 個人プロジェクト発表、質疑応答	○		○	知識・技能：調査結果を発表としてまとめる。 思考・判断・表現：英語で自分の考えを伝える。 主体的態度：他者の発表を聞き学びを深める。	
1	4	Reflection 学習の振り返り、自己評価、今後の課題整理	○		○	知識・技能：探究活動の過程を理解する。 思考・判断・表現：学びを言語化して振り返る。 主体的態度：次の学習につなげようとする。	

☆出席、取り組み状況（個人ワーク、ペアワーク、グループワーク、発表、国際交流事業）を特に重視します。英文を英語の音声の特徴をとらえて読むことや、相手の立場に立ってコミュニケーションを行うことをねらいとします。

☆実用英語技能検定準2級以上の受験をもとめます。

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解		○	○	【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式	○		○	【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合			○	【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ		○	○	【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目して多面的に考察することができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
デュアル派遣実習	4	3学年 選択科目	なし	なし

1 科目の目標

産業現場での実習を通して、学校での専門学習の成果を実社会にフィードバックし、深化するとともに双方向の人材育成を図り社会性を身に付け、農業各分野の技術や経営管理に活用する態度と能力を育てることを目標とする。

①産業現場に必要な知識と技術に関して興味・関心を持ち、実習先が求める必要な資質・能力を身に付けるようにする。

②産業現場で与えられた実習内容を適切に判断する能力を身に付けるようにする。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 5	14	・オリエンテーション ・実習先調べ学習 ・実習の心得			○	【態】:産業現場での実習の準備に興味・関心を持ち、主体的に課題を見つけ、実際の現場において課題を解決しようとする実践的な態度を身に付けてけようとしている。	
5 ～ 10	90	・産業現場での実習	○	○	○	【態】:実習先で心得を踏まえた行動を心がけるとともに、実習先の指示を聞き行動できる。 【思】:実習先から与えられた仕事について、業務内容を理解し、行動することができる。 【知】:実習先の業務内容を理解し、活動記録を適切にまとめることができる。	【知】 (1) 活動記録 (2) 企業評価
10 ～ 12	24	・礼状作成 ・活動記録のまとめ ・プレゼンテーション作成 ・発表練習	○	○		【思】:実習で経験したことを適切にまとめることができる。 【知】:実習先の業務内容を理解し、礼状や報告資料を適切にまとめることができる。	【思】 (1) 実習態度 (2) プレゼンテーション作成と発表
12 ～ 1	12	・デュアル派遣実習報告会		○		【思】:報告会をとおして、聴衆者に活動内容を適切に伝えることができる。	【態】 (1) 授業態度 (2) 実習態度 (3) 振り返りシート

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
を目的とする。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式
するとともに
にする。

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥0令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
表現・処理したりする技能を身に付けるよう

②命題の
要素間の
的に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
考察し表現する力、関数関係に着目し、事象

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する
参考資料(高等学校編)を参考に作成してください

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考

月	時数	単元名及び学習内容	評価の		【知】	【思】	【表現】	【態度】
			知	思				
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解						行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 実数 2 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式						行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合						ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ						行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
ライフマネジメント	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科		

1 科目の目標

健康や安全に配慮した生活を送るために必要な知識を習得し、自立した生活を送るため、自ら課題を発見・解決することでQOL向上に向けた生活を計画することができる。

(1)生活を主体的に営むために必要な各ライフステージの自立のため基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付ける。

(2)生涯を見通して、生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想して実践評価・改善を行い、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する能力を身に付ける。

(3)様々な人と協働し、よりよい生活の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実・向上を図るために計画し、実践する力を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	1 ライフステージと生活	①	①	①	【知識・技能】 ①自立に必要な知識・技能を身に付け、それらを活かして生活を豊かにするために必要なことを判断することができる。 ②学んだ知識を活かし、自身の生活をより豊かに過ごすための計画を立てることができる。 ③現代の生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ①心身ともに健康で豊かな生活を営むための習慣について思考を深め、自分の生活の現状を判断することができる。 ②各ライフステージに応じた望ましい生活を判断することができる。 ③QOLの向上に向けて、適切な選択をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①自分自身の生活や現代の生活課題に関心を持ち、改善しようとする姿勢がみられる。 ②現代の生活課題を解決するために、周囲の環境づくりを行おうとする姿勢が見られる。	ワークシート レポート
5	6	2 栄養と生活	①②	②	①		
6	10	3 運動と生活		①	①		
7	6						
8	4	4 健康と生活	①	③	①②		
9	10						
10	8	5 生涯学習と生活	③	③	①		
11	8	6 ライフプロジェクト	③	③	③		
12	8						
1	4						

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うに、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることが できる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察する ことができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目して多面的に考察することができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
食品微生物	2	3学年・選択F	食品微生物 (実教出版)	なし

1 科目の目標

- ・農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 - (1) 食品微生物について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 - (2) 食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。
 - (3) 食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- ・本校で製造、販売されているヨーグルト、ナチュラルチーズ、みそをはじめとした発酵食品の特徴や製造原理について学習します。食品や人の健康に影響する微生物についても学習します。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	4	1章 人間生活と微生物 1節 微生物を学ぶにあたって 1 生命の誕生と進化 2 微生物とは 3 微生物研究の歴史と発展				<p>【関】:微生物と人間・生活への関連性について興味・関心を持ち、積極的に授業に参加しようとしている。</p> <p>【思】:微生物と自然界の物質循環について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断することができる。教科内プロジェクトの課題解決に向け探求的な活動ができる。</p>	
5	3	2節 生物環境と微生物 1 微生物と物質循環 2 微生物と農業 3 微生物工業 4 微生物と環境浄化 2 (実験)微生物の増殖と水分 2 鑑定競技の学習	○	○	○	<p>【技】:実験の目的を理解し適切に操作することができる。アジア(日本)と世界の発酵食品に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。</p> <p>【知】:食品製造における食品微生物と自然界の物質循環に関する基礎的な知識を身に付け、微生物産業の発展について理解している。</p>	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・小テスト ・単元テスト <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント
6 ～ 8	16	3節 食品と微生物 1 発酵と腐敗 (実験)発酵と腐敗 2 発酵食品の製造 (実験)甘酒の酵素 (実験)鰹節のうま味(官能検査) 3 食中毒 4 経口感染症 5 食品衛生 (実験)食品衛生検査	○	○	○	<p>【関】:発酵と腐敗について興味・関心を持ち、食品の変敗と微生物との関係性について探究しようとしている。</p> <p>【思】:食品微生物における発酵と腐敗のメカニズムについて思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、制御方法を思考することができる。</p> <p>【技】:実験の目的を理解し適切に操作することができる。食品衛生検査の目的と役割を理解し、実践することができる。</p> <p>【知】:発酵と腐敗、発酵食品、食中毒に関する基礎的な知識を身に付け、食品の品質保全と発酵食品の製造について理解している。</p>	<p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業(実習、実験)態度 ・授業プリント ・振り返りシート

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	2章 微生物の種類と特徴 1 かび 2 酵母 3 細菌 4 ウイルス				<p>【関】:微生物の種類とその特徴について興味・関心を持ち、積極的に授業に参加しようとしている。</p> <p>【思】:微生物の代謝と発酵食品製造の関連性について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断することができる。教科内プロジェクトの課題解決に向け探求的な活動をしている。</p>	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・小テスト ・単元テスト <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・レポート ・ワークシート <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業(実習、実験)態度 ・授業プリント ・振り返りシート
10	8	3章 微生物の代謝と酵素 1 アルコール発酵 (実験)果実のアルコール発酵 2 有機酸発酵 (実験)ヨーグルトの製造 (実験)乳酸菌数の測定	○	○	○	<p>【技】:実験の目的を理解し適切に操作することができる。発酵乳の特徴とその規格について理解し、製造及び検査を実践できる。</p> <p>【知】:微生物の種類とその代謝と酵素に関する基礎的な知識を身に付け、発酵食品との関連性について理解している。</p>	
11	8	教科内プロジェクト活動のまとめ ヨーグルトの新フレーバーの企画				<p>【関】:教科内プロジェクトについて興味・関心を持ち、積極的に授業に参加しようとしている。</p> <p>【思】:教科内プロジェクトを通して、課題の整理とまとめを行うことができる。</p>	
12	7	発酵食品の製造 1 ヨーグルトの製造 2 ナチュラルチーズの製造	○	○	○	<p>【技】:発酵食品製造の実践を通して、技術を磨くとともにその発酵食品の特徴について適切に他者に説明できる。</p>	
1	4	発酵食品と微生物 1年間の学習のまとめ				<p>【知】:食品微生物に関する基礎的な知識全般を身に付け、発酵食品との関連性について理解している。</p>	

2.3学年シラバス作成	単位数	¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥O令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。	副教材
	3		なし

1 学習の到達目標
 ①数学的活動を通して数学に関心をもち、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を身に付けている。
 ②事象を数量、図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。
 2 評価の観点・方法・・・評価は次の4観点から行います。

評価の観点	評価規準	配分(%)
①関心・意欲・態度	数学的なものの見方や考え方に興味を持ち、自ら進んで学習しようとしている。 数学的なものの見方や考え方を認識し活用しようとしている。	20
②思考・判断・表現	事象を数量、図形などで数学的に表現し処理することができる。 数学的な事象を論理的に考えることができる。	30
③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 よりよく問題を解き、適切な解答を導くことができる。	30
④知識・理解	基本的な事項(法則・公式)を理解している。 数量、図形などに関する基礎的な知識を身に付けている。	20

3 年間学習計画
 評価の観点→【関】:関心・意欲・態度、【考】:数学的

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				評価規準	学習活動
			関	思	技	知		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解					【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
5	7	2節 実数 1 実数					【知】:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 【思】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【技】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 【考】:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【関】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
6		2 不等式の性質 3 1次不等式					【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合					【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ					【知】:二次関数の性質やグラフの描き方を理解している。 【思】:二次関数の性質やグラフの描き方を理解している。 【技】:二次関数の性質やグラフの描き方を理解している。 【考】:二次関数の性質やグラフの描き方を理解している。 【関】:二次関数の性質やグラフの描き方を理解している。	行動観察

「1 学習の到達目標」、「2評価の観点・方法」は現行のシラバスのデータをそのままご活用ください。

※評価の観点
ください。欄が

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

内容は各教科で異なりますので、ご注意ください。
足りない場合は適宜追加してください。

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
理数探究	2	3年 食品科学科 3年 生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

身の回りにある自然科学的な事象について探求活動を行うことにより、現象の裏にある法則性に気づくとともに知識や技能を深化させる。また、知識の体系化・総合化を図り、自発的な学習態度を育てる。

- ①設定された課題について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的・数学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。
- ②設定された課題に関する事象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的・数学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- ③設定された課題に関する事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	5	課題の設定 これまでの学習内容を基にした課題設定を行う	○	○	○	【知】:これまでに学習してきた理科・数学分野について理解しており、それをもとに探究計画をたてようとしている。 【思】:これまでに学習してきた理科・数学分野について問題を見だし、その探求方法について考察し、自分の考えを表現できる。 【主】:課題探求に必要な、科学・数学の基本的な概念や原理・法則について理解しようとしている。	ワークシート 実験ノート 中間報告
5 ～ 6	10	研究計画の立案 課題に対する研究計画を立案する。	○	○	○	【知】:これまでに学習してきた理科・数学分野について理解しており、探究の中で新しい知識を身に付けようとしている。 【思】:これまでに学習してきた理科・数学分野について問題を見だし、その探求方法について考察し、自分の考えを表現できる。 【主】:課題探究に必要な、科学・数学の基本的な概念や原理・法則について理解しようとしている。	ワークシート 実験ノート 中間報告

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
			知	思	態			
7 ～ 11	40	調査・研究 計画に基づいて調査・研究を行う。	○	○	○	<p>【知】:これまでに学習してきた理科・数学分野について理解しており、探究の中で新しい知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:これまでに学習してきた理科・数学分野について問題を見だし、その探求方法について考察し、自分の考えを表現できる。</p> <p>【主】:課題探究に必要な、科学・数学の基本的な概念や原理・法則について理解しようとしている。</p>	ワークシート 実験ノート 中間報告	
11 ～ 1	9	まとめ 探究のまとめ、発表準備を行う。	○	○	○	<p>【知】:これまでに学習してきた理科・数学分野について理解しており、探究の中で新しい知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:これまでに学習してきた理科・数学分野について問題を見だし、その探求方法について考察し、自分の考えを表現できる。</p> <p>【主】:課題探究に必要な、科学・数学の基本的な概念や原理・法則について理解しようとしている。</p>	ワークシート 実験ノート 中間報告	
1	3	最終週						
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、化学、生物、物理、地学、数学の5分野から1つ選択する。その後個人で小テーマを設定し、同じ分野をグループとし活動する。 ・テーマを複数設定することは構わないが、最低1つのテーマに関しては発表できるようにすること。 ・調べ学習は適時おこなうが、必ず実験観察を行うこと。実験観察を行わないテーマの発表は認められない。 ・各グループは毎回実験ノートに活動内容をまとめて、授業終了時に提出すること ・適時中間報告がある。 								

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材			
(選択E)アドバンスト イングリッシュ	2	3年 食品科学科(選択者) 3年 生産科学科(選択者)	なし	なし			
1 科目の目標							
(1) 知識及び技能 日常的・社会的な話題について、 ・語彙(約4,000語程度を目安)および表現の理解と運用 ・文の構造や談話の展開の理解 ・論理的な文章構成(主張・理由・具体例・結論)の把握 ・情報や考えを整理して伝えるための文法事項の適切な活用 を通して、聞く・読む・話す・書くの4技能を統合的に活用できる力を養う。 (2) 思考力、判断力、表現力等 日常的・社会的な話題について、 ・要点や詳細を的確に捉える ・情報を整理し、比較・対比・因果関係を考える ・自分の意見や理由を論理的に構成する ・相手や目的に応じて適切に表現する ことができる力を育成する。特に、意見文(80～120語程度)の作成や、理由を伴う発話を通して、論理的表現力を高める。 (3) 学びに向かう力、人間性等 ・英語で積極的に伝え、異文化や多様な価値観に関心を持ち、理解を深めようとする姿勢を育てる。							
2 年間学習計画							
評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度							
月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	8	Global Communication ・授業のオリエンテーション ・英語記事の読み方(Topic sentence の理解) ・語彙確認(社会・生活) ・英語ニュース記事の読解 ・要約活動(50語程度)	○	○		基本的な語彙や表現を理解し、英文の大意を把握することができる。 文章の要点を整理し、内容を簡潔にまとめることができる。 英語の記事や動画に関心を持ち、自分の考えを伝えようとしている。	・Reading test ・Quiz ・Vocabulary quiz ・Unit quiz ・Project ・Paper
5	8	Education and Technology ・教育とICTに関する英文読解 ・メリットとデメリットの整理 ・比較表現の理解 ・意見文作成(80語程度) ・グループディスカッション	○	○		比較や理由を表す基本的な表現を理解している。 教育やICTに関する話題について、自分の意見を理由とともに述べるができる。 他者の意見を聞きながら、自分の考えを積極的に伝えようとしている。	・Reading test ・Quiz ・Vocabulary quiz ・Unit quiz ・Project ・Paper
6	8	Environment and Our Future ・環境問題に関する英文読解 ・原因と結果の整理 ・図表を用いた情報理解 ・環境問題に関する提案スピーチ	○	○		因果関係を表す表現を理解し、内容理解に活用している。 環境問題について情報を整理し、解決策を説明できる。 社会的課題について主体的に考え、発言しようとしている。	
7	7	Media and Information ・ニュース記事の読解 ・事実と意見の区別 ・SNSと情報の広がりについて理解する ・意見文作成(100語程度)	○	○		ニュースに関する語彙や表現を理解している。 情報の信頼性について考え、自分の意見を整理して述べるができる。 身近なメディアについて関心を持ち、意見交換に参加している。	・Reading test ・Quiz ・Vocabulary quiz ・Unit quiz ・Project ・Paper
8	4	Young People and Society ・世界の若者の活動に関する英文読解 ・長めの英文の要点整理 ・プレゼンテーション準備				長めの英文から必要な情報を読み取ることができる。 記事内容を整理し、自分の考えをまとめることができる。 社会問題に関心を持ち、意見を共有しようとしている。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	Health and Lifestyle <ul style="list-style-type: none"> 健康や生活習慣に関する英文理解 問題・原因・解決策の整理 助言表現の理解 グループ発表 	○		○	助言や提案を表す表現を理解している。生活習慣に関する課題について原因や解決策を説明できる。健康に関する話題について積極的に意見交換している。	<ul style="list-style-type: none"> Reading test Quiz Vocabulary quiz Unit quiz Project Paper
10	9	Work and Future Careers <ul style="list-style-type: none"> 未来の仕事に関する英文読解 図表を用いた説明活動 エッセイ作成(120語程度) キャリアに関する意見交換 	○		○	仕事や将来に関する語彙や表現を理解している。自分の将来について具体例を挙げながら説明できる。将来の進路について主体的に考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> Reading test Quiz Vocabulary quiz Unit quiz Project Paper
11	8	Culture and Diversity <ul style="list-style-type: none"> 文化の多様性に関する英文理解 比較表現の理解 ロールプレイによる意見交換 比較作文 	○		○	比較を表す基本的な表現を理解している。文化の違いについて整理し、自分の考えを説明できる。異文化について関心をもち、意見交換に参加している。	
12	6	Science and Innovation <ul style="list-style-type: none"> 科学技術に関する英文読解 要約活動 小グループによる意見交換 意見文作成(150語程度) 	○		○	科学技術に関する語彙や表現を理解している。科学技術の利点や課題について論理的に述べることができる。新しい技術について主体的に考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> Reading test Quiz Vocabulary quiz Unit quiz Project Paper
1	4	Global Issues Presentation <ul style="list-style-type: none"> テーマ設定(環境・教育・AIなど) 発表原稿作成(150語程度) プレゼンテーション(約3分) 振り返り 	○		○	学習した語彙や表現を用いて発表原稿を作成できる。情報を整理し、自分の考えを論理的に発表できる。自分のテーマについて主体的に調べ、発表に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> Reading test Quiz Vocabulary quiz Unit quiz Project Paper

☆出席、取り組み状況(個人ワーク、ペアワーク、グループワーク、発表、国際交流事業)を特に重視します。英文を英語の音声の特徴をとらえて読むことや、相手の立場に立ってコミュニケーションを行うことをねらいとします。

☆実用英語技能検定準2級以上の受験を課します。(新ひだか町による英検助成制度を活用します)(受験時期は第1回または第2回)

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
を目的とする。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	1 実数 2 根号を含む式の計算	○			【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【思】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【態】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
		3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式		○	○		行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を多面的に考察するこ とができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
栽培と環境	2	3年 両学科 選択	栽培と環境 (実教出版)	なし

1 学習の到達目標

1 目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栽培植物の育成環境の調整・管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 12	20	オリエンテーション (1)プロジェクト学習 ・栽培計画、栽培管理 ・栽培管理 ・生育調査、収量調査 ・まとめ、発表	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知】:栽培と環境に関するプロジェクト学習の意義や進め方について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 【思】:栽培と環境に関する課題を発見し、プロジェクト学習により科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:栽培と環境について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	行動観察 記録簿 ワークシート
4 ～ 10	12	(4)栽培植物の育成環境 ・気象と災害対策 ・土壌の管理と改良 ・肥料の性質と施肥の方法 ・農薬の特性と防除の方法 ・施設型農業の栽培環境	○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知】:環境要素の調節、管理と改善について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 【思】:環境要素の調節、管理と改善に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:環境要素の調節、管理と改善について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	行動観察 記録簿 ワークシート 単元テスト
5 ～ 11	12	(2)栽培と環境の診断・実験の方法 ・調査と観察 ・生育と環境診断 ・実験と検証	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知】:栽培と環境の診断・実験の方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 【思】:栽培と環境の診断・実験に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:栽培と環境の診断・実験の方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	行動観察 記録簿 ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
5 ～ 10	12	(5) 環境に配慮した栽培の実践 ・リビングマルチの導入 ・生物農薬の活用 ・減肥、減農薬 ・バイオ炭の活用	○	○	○	【知】: 環境に配慮した栽培技術と環境保全について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 【思】: 環境に配慮した栽培技術と環境保全に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】: 環境に配慮した栽培技術と環境保全について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 記録簿 ワークシート 単元テスト
11 ～ 1	7	(3) 栽培植物と環境要素 ・環境の要素 ・物質の循環 ・栽培技術と環境	○	○	○	【知】: 栽培植物と環境要素の関係について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 【思】: 栽培植物と環境要素に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】: 栽培植物と環境要素について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数
する
にす

¥¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥0令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

②命
要素
的

に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
を考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
を考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ さを認識し、問題解決にそれらを活用しようと したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し ようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
5	7	2節 実数				数を実数まで拡張する意義を理解すると 、簡単な無理数の計算をすることができ	行動観察 ワークシート 定期考査
6	6	3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察する ことができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に ついて理解している。 【思】:二次関数の式とグラフとの関係につ いて、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフ をかくなどして多面的に考察することができる。	行動観察 ワークシート グラフシート 定期考査

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3		セルを結合して作成する場合は「 <u>両端揃え</u> 」を統一して行ってください。					

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
飼育と環境	2	3年 両学科(選択)	飼育と環境(海文堂出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、飼育動物の育成環境の調節・管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 飼育と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 飼育と環境について農業生物の飼育や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	1 「飼育と環境」とプロジェクト学習 (1)飼育と環境に関するプロジェクト学習の意義			○	【知】飼育と環境に関する課題を発見し、プロジェクト学習に必要な情報の収集と分析に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、発表活動 考査
		2 飼育の目的と現状 (1) 現代における動物飼育の目的 (2) 飼育の現状と動向	○			【知】飼育と環境の役割と動向について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	行動観察 レポート、テスト
		3 飼育と環境 (1) 動物の種類と特性 (2) 動物の飼育環境 (3) 動物の健康管理	○		○	【知】動物の特性と飼育技術について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【態】動物の特性と飼育技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト
5	6	4 飼育技術と管理・評価 (1) 社会動物 (2) 産業動物 (3) 実験動物	○	○	○	【知】動物の分類について理解する。 【思】動物による飼育方法と管理について、適切な管理方法を考える事ができる。 【態】動物の飼育技術について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト
6	6	5 家畜の飼料と管理 (1)家畜の消化器と消化・吸収機能 (2)飼料給与の実際	○	○	○	【知】消化器の構造や消化器の仕組みなど関連する知識が身につけている 【思】飼料の特性を考慮した飼料の設計や給与ができる。 【態】飼料の給与や栽培に関する課題について自ら学び、主体的かつ協働的に解決に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト
7	8	6 家畜の繁殖技術 (1)動物の生殖生理と繁殖管理	○	○	○	【知】生殖器の構造や繁殖の仕組みなど関連する知識が身につけている 【思】繁殖における課題を発見し科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】繁殖管理における課題について自ら学び、主体的かつ協働的に解決に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト
8	6	(2)妊娠から分娩のしくみ	○	○	○	【知】乳牛の発育生理や栄養との関わりなど関連する知識が身につけている 【思】乳牛の育成における課題を発見し科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】育成管理における課題について自ら学び、主体的かつ協働的に解決に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	7 飼育の実践	○	○	○	【知】畜産施設に関する知識が身についている 【思】動物の健康管理における課題を発見し科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】動物の健康管理における課題について自ら学び、主体的かつ協働的に解決に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト
10	8	(1) 学校における動物の飼育の実践					
11	8						
12	8						
1	6	(2) 地域との調和を目指した取組		○		【思】地域の畜産業の現状や飼育環境について課題を発見し化学的な根拠を基に解決することができる。 【態】本校施設と地域の施設環境について違いや課題について、自ら学び主体的に協働的に解決に取り組もうとしている。	行動観察 レポート、テスト

1学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう
目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	1 実数 2 根号を含む式の計算	○			数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することが	行動観察 ワークシート 定期考査
		3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式		○	○	【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することが	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
食品製造	2	3年・食品科学科	食品製造 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

(2) 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 食品製造について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通 年	4 ～ 5	1章 食品製造の意義 食品製造とその目的				【関】:食品製造について興味・関心を持ち、食品製造者としての態度を身に付けようとしている。 【思】:食品衛生とその危害要因について思考を深め、安全・安心な食品製造を実践できる。	【知】 授業態度 パフォーマンス 定期考査 【思】授業プリント 実習記録簿 定期考査 【態】 ワークシート 自己評価 相互評価
		4章 食品加工と食品衛生 1 食品と食品衛生 2 食品による危害と安全確保		○	○		
		7章 畜産物の加工 牛乳の加工				【態】:牛乳の成分の特徴と加工特性に興味関心をもち、身近な乳製品がどのように製造されるのかを意欲的に学ぼうとする態度を身に付けている。 【思】:牛乳の成分の特徴と加工特性を理解し、身近な乳製品がどのような特性を活かして製造されているのかを科学的に捉え、適切に判断できる。 【知】:牛乳の成分の特徴と加工特性を理解し、加工原理・乳製品の製造に必要な基礎的な知識や技術が身に付いている。	
		1 牛乳の成分と加工特性					
		2 クリーム製造	○	○	○		
		3 乳飲料の製造					
		4 発酵乳の製造					
		5 アイスクリームの製造					
		6 チーズの製造					
	通 年		第6章 農産物の加工				
		1 穀類の加工 ・パン ・菓子類	○	○	○		
		2 いも類の加工 ・いもの加工					
		3 野菜類の加工 ・トマトの加工 ・本校農場野菜の加工					

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通 年		7章 畜産物の加工 肉類の加工 1 肉の成分と加工特性 2 豚肉の加工 (1)ソーセージの製造 (2)ベーコンの製造	○	○	○	【 態 】:肉類の成分の特徴と加工特性に興味関心をもち、身近な肉製品がどのように製造されるのかを意欲的に学ぼうとしている。 【 思 】:肉類の成分の特徴と加工特性を理解し、身近な肉製品がどのような特性を活かして製造されているのかを科学的に捉え、適切に判断できる。 【 技 】:肉類の成分の特徴と加工特性を理解し、加工原理・乳製品の製造に必要な基礎的な知識や技術が身に付いている。	【 知 】 授業態度 パフォーマンス 定期考査 【 思 】授業プリント 実習記録簿 定期考査 【 態 】 ワークシート 自己評価 相互評価
通 年		8章 発酵食品の製造 ・発酵食品の特徴と種類 ・みその製造	○	○	○	【 関 】:発酵食品に興味を持ち、品質を向上させるための製造について考えることができる。 【 思 】:発酵の特性を理解し、みその加工について、適切な方法を考えることができる。 【 知 】:発酵食品の基礎的な知識、衛生の知識を身につけ、加工原理を理解することができる。とともに、みその製造について理解し、安全に加工を実施することができる。	
4 ・ 12 ～ 1		9章 食品製造の実践と企業化 1 品質管理 2 作業体系 (HACCPの実践)	○	○	○	【 態 】:食品の安全を守るための品質管理・作業体系にはどのような方法があるのか興味・関心を持ち、食品製造と品質管理・作業体系の関わりについて探求しようとしている。 【 思 】:食品の安全を守るための品質管理・作業体系の仕組みについて思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【 知 】:品質管理・作業体系に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用しているとともに、基礎的な知識を身に付けている。	

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
食品製造	2	3年・食品科学科	食品製造 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

(2) 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 食品製造について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通年	16	7章 畜産物の加工 牛乳の加工 1 牛乳の成分と加工特性 2 クリーム製造 3 乳飲料の製造 4 発酵乳の製造 5 アイスクリームの製造 6 チーズの製造		○	○	<p>【態】:牛乳の成分の特徴と加工特性に興味関心をもち、身近な乳製品がどのように製造されるのかを意欲的に学ぼうとする態度を身に付けている。</p> <p>【思】:牛乳の成分の特徴と加工特性を理解し、身近な乳製品がどのような特性を活かして製造されているのかを科学的に捉え、適切に判断できる。</p> <p>【知】:牛乳の成分の特徴と加工特性を理解し、加工原理・乳製品の製造に必要な基礎的な知識や技術が身に付いている。</p>	
通年	16	第6章 農産物の加工 1 穀類の加工 ・パン ・菓子類 2 いも類の加工 ・いもの加工 3 野菜類の加工 ・トマトの加工 ・本校農場野菜の加工	○	○	○	<p>【態】:農産加工に興味を持ち、品質を向上させるための製造について考えることができる。</p> <p>【思】:農産物の特性を理解し、農産物にあった加工方法を考えることができる。</p> <p>【知】:農産加工の基礎的な知識、衛生の知識を身につけ、加工原理を理解することができる。</p>	<p>【知】 授業態度 パフォーマンス テスト</p> <p>【思】 授業プリント 実習記録簿 テスト</p> <p>【態】 ワークシート 自己評価 相互評価</p>
通年	16	7章 畜産物の加工 肉類の加工 1 肉の成分と加工特性 2 豚肉の加工 (1) ソーセージの製造 (2) ベーコンの製造	○	○	○	<p>【態】:肉類の成分の特徴と加工特性に興味関心をもち、身近な肉製品がどのように製造されるのかを意欲的に学ぼうとしている。</p> <p>【思】:肉類の成分の特徴と加工特性を理解し、身近な肉製品がどのような特性を活かして製造されているのかを科学的に捉え、適切に判断できる。</p> <p>【技】:肉類の成分の特徴と加工特性を理解し、加工原理・乳製品の製造に必要な基礎的な知識や技術が身に付いている。</p>	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通 年	6	8章 発酵食品の製造 ・発酵食品の特徴と種類 ・みその製造	○	○	○	<p>【関】:発酵食品に興味を持ち、品質を向上させるための製造について考えることができる。</p> <p>【思】:発酵の特性を理解し、みその加工について、適切な方法を考えることができる。</p> <p>【知】:発酵食品の基礎的な知識、衛生の知識を身につけ、加工原理を理解することができる。とともに、みその製造について理解し、安全に加工を実施することができる。</p>	<p>【知】 授業態度 パフォーマンス テスト</p> <p>【思】 授業プリント 実習記録簿 テスト</p> <p>【態】 ワークシート 自己評価 相互評価</p>
4 ～ 9	3章 食品の変質と貯蔵 ・食品の変質とその原因 ・食品の貯蔵法 第4章 食品加工と食品衛生 ・食品と食品衛生 ・食中毒 ・食品による危害と安全確保 ・食品添加物	○	○	○	<p>【関】:食品の変質と食品衛生に興味を持ち、食品安全を向上させるための製造方法について考えることができる。</p> <p>【思】:食品の変質と食品衛生について理解し、食品製造において適切な方法を考えることができる。</p> <p>【知】:食品の変質と食品衛生の基礎的な知識を身につけ、安心・安全な食品加工を実施することができる。</p>		
10 ～ 1	5章 食品の包装と表示 ・食品の包装 ・加工食品の表示制度	○	○	○	<p>【関】:食品の包装と表示に興味を持ち、食品包装と表示の方法について考えることができる。</p> <p>【思】:食品の包装と表示について理解し、食品製造において適切な包装と表示を行えることができる。</p> <p>【知】:食品の包装と表示の基礎的な知識を身につけ、安心・安全な食品加工を実施することができる。</p>		

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることがで きる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察するこ とができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を多面的に考察するこ とができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよ
うとしている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
食品化学	2	3年 食品科学科	食品化学 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の成分と栄養価値の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 食品化学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 食品化学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 食品化学について食品の成分や栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	オリエンテーション タンパク質の特徴・性質, 特性を利用した食品 脂質の特徴・性質, 特性を利用した食品	○	○	○	【知】タンパク質や脂質の特徴や性質についての知識を身に付け、タンパク質や脂質の特性を活用した食品について理解している。 【思】身近な食品と原材料に含まれているタンパク質と脂質について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】タンパク質と脂質の基礎的な知識について興味・関心を持ち、その特性を身近な食品にどのように利用されているのかについて探究しようとしている。	【知】 ・小テスト ・単元テスト 【思】 ・単元テスト ・授業プリント 【態】 ・授業プリント ・振り返りシート
5	8	微量成分 (1) 色素成分について (2) 香気成分について (3) 呈味成分について (4) 単位の変換・割合計算	○	○	○	【知】微量成分に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品に含まれている成分の性質や機能について理解している。 【思】身近な食品と原材料に含まれている微量成分の種類と性質について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】微量成分の基礎的な知識について興味・関心を持ち、身近な食品と原材料に含まれている微量成分の種類と性質について探究しようとしている。	
6	8	食品の栄養とその評価 (1) 食品成分の消化と吸収 (2) 単位の変換・割合計算	○	○	○	【知】食品成分の消化と吸収に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品の消化と吸収について理解し、適切に活用している。 【思】食品成分の消化と吸収の特性について理解を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】食品の消化と吸収について興味・関心を持ち、食品成分の消化と吸収とその必要性について探究しようとしている。	
7	8	食品の栄養とその評価 (1) からだと栄養のかかわり (2) おもな栄養素の相互間代謝 (3) 三大栄養素の代謝 (4) 微量栄養素の働き	○	○	○	【知】食品成分の消化と吸収に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品の消化と吸収について理解し、適切に活用している。 【思】食品成分の消化と吸収の特性について理解を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】食品の消化と吸収について興味・関心を持ち、食品成分の消化と吸収とその必要性について探究しようとしている。	
8	7	(5) 現代社会の食生活栄養の問題点 (6) 保健機能食品 (7) 食品の栄養的価値 (8) 三大栄養素の栄養的価値	○	○	○		

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	食品の栄養とその評価 (1) 食品の分類 (2) 植物性食品 (3) 動物性食品 (4) 加工食品 (5) 食品の組み合わせ	○	○	○	【知】食品の栄養とその評価に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品の消化と吸収について理解している。 【態】食品の栄養とその評価について興味・関心を持ち、食品成分の消化と吸収とその必要性について探究しようとしている。 【思】食品の栄養とその評価について理解を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	【知】 ・小テスト ・単元テスト
10 ～ 11	15	食品の成分分析 (1) 食品の成分分析の意義 (2) 水分・タンパク質・脂質・水化物・無機質・ビタミンなどの食品化学実験の概要と使用器具の説明 (3) 食品の官能検査・テクスチャー	○	○	○	【知】成分分析に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品中に含まれている成分の分析方法について理解している。 【思】食品成分の特性とその分析方法について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】食品の成分分析について興味・関心を持ち、食品成分の分析とその必要性について探究しようとしている。	【思】 ・単元テスト ・授業プリント
12 ～ 1	10	食品の衛生検査 (1) 食品衛生管理の意義 (2) 異物の検査 (3) 細菌の検査 (4) 食品添加物の検査 (5) 農薬	○	○	○	【知】食品衛生に関する基礎的な知識を身に付け、食品衛生と食品製造の関連性について理解している。 【思】食品の衛生について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。 【態】食品衛生について興味・関心を持ち、食品と衛生の関連性について探究しようとしている。	【態】 ・授業プリント ・振り返りシート

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的
をを目指す。

学習指導要領の各科目に記載している
「1 目標」をコピー＆ペースト

①数と式 図形と計量 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態
度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適 切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算 の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目 的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ うにし、問題解決にそれらを活用しようとし たり強く考え数学的論拠に基づき判断し ていく。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	2章 数と式 2節 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:実数まで拡張する意義を理解すると ともに、簡単な無理数の計算をすることが できる。 【知】:不等式の解の意味や不等式の性質につ いて理解するとともに、一次不等式の解を求め ることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質 を基に一次不等式を解く方法を考察する ことができる。	行動観察 ワークシート 定期考査 行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理 解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考 察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に 着目し、事象を多面的に考察する ことができる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
食品流通	2	3年 食品科学科	食品流通 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の流通とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 食品流通について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ~ 6	4 4 4 4	第6章 食品の物流 1 物流とは 2 物流を構成する活動 3 食品の保管 4 情報処理と物流情報システム	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知】:物流のしくみを理解し、流通の市場規模や用語について答えることができる。 【思】:物流のしくみにを理解し、品質の保持に必要な方法を考えることができる。 【態】:物流に興味を持ち、物流の課題について解決しようとしている。	ワークシート テスト
7 ~ 10	5 10 10 6	第7章 食品マーケティング 1 マーケティングとは何か 2 マーケティングの発展 3 マーケティング戦略 4 食品マーケティングの実際	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知】:マーケティングの基礎を理解し、商品のマーケティング戦略を考えることができる。 【思】:本校製品のマーケティング戦略を考え表現することができる。 【態】:本校製品のマーケティング課題を見つけ解決しようとしている。	ワークシート 提出物 テスト
11 ~ 1	5 6 4	第8章 市場調査・環境分析 1 市場調査・環境分析 2 マーケティング戦略の策定 3 マーケティングの実際と評価	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知】:市場調査・環境分析について理解しようとしている。 【思】:販売会での結果を踏まえ製品の販売戦略を考え表現することができる。 【態】:本校製品の販売での課題を見つけ解決しようとしている。	ワークシート 提出物 テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
商品開発Ⅱ	2	3年・食品科学科	なし	なし

1 科目の目標

商品開発に関する課題を発見し、商品の企画から開発、販売、分析までの基本的な活動を行う能力と態度を身に付けるとともに、地域資源を踏まえた新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的且つ協働的に取り組む態度を身に付けることを目標とする。

- ①商品開発に必要な知識と技術に関して興味・関心を持ち、商品開発の意義と方法を科学的に捉え、創造的な商品を開発しようとする態度を身に付けるようにする。
- ②商品開発に必要な知識と技術に関して思考を深め、食品の特性に応じた商品開発方法を適切に判断する能力を身に付けるようにする。
- ③商品開発に必要な基礎・基本的な知識や技術を身に付け、適切に活用する能力を身に付けるようにする。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	・オリエンテーション ・地域商品の種類 ・地域商品の課題把握 ・地域商品の消費動向 ・町が求めるもの	○		○	【態】:地域の商品に興味・関心を持ち、商品開発の意義を理解しようとしている。 【知】:地域商品の消費動向について、理解を深めている。	
5	6	・市場調査の方法と実践 ・開発商品テーマ設定及び商品検討 ・商品コンセプトとターゲティング設定	○	○		【思】:市場調査について、意義を理解し、学んだ知識を活用して、適切に実践することができる。 【知】:商品コンセプトとターゲティングについて身に付けた知識を適切に活用し設定している。	【関】 (1) 定期考査 (2) 小テスト (3) 制作物 (4) 授業プリント
6	6	・商品企画書の作成 ・類似商品の製造工程及び原材料分析	○	○		【思】:類似商品の製造工程及び原材料分析について、客観的に分析を行うことができる。 【知】:商品企画書を商品コンセプトやターゲティングを踏まえ、作成することができる。	【思】 (1) ノート確認 (2) 授業プリント
7	6	・開発商品の製造工程及び原材料決定 ・原価計算・利益率計算 ・価格設定 ・開発商品のまとめ		○	○	【思】:原価や利益率の求め方について、市場商品进行分析しながら価格設定をすることができる。 【態】:開発商品の製造工程や原材料について身に付けた知識を適切に活用し応用することができる。	【態】 (1) 授業態度 (2) 授業プリント (3) 自由記述 (4) 行動観察
8	10	・商品の試作	○			【知】:商品の試作について、企画書に基づき行うことができる。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	6	・試作品アンケート調査 ・商品の改善① ・試作品の評価 ・商品の改善②		○	○	【思】:試作品のアンケートについて、試作品の改善につながる項目を設定することができる。 【態】:商品の改善について、試作品のアンケート結果を踏まえ、取り組むことができる。	
10	12	・商品の改善③ ・商品パッケージの作成 ・栄養表示基礎と作成	○		○	【態】:商品の改善について、客観的な視点を持ち、改善に取り組むことができる。 【知】:商品パッケージの作成について身に付けた知識を適切に活用し作成することができる。	【関】 (1) 授業態度 (2) 授業プリント
11	6	・試作品の評価 ・製品製造 ・町内・販売会での試験販売	○	○		【思】:商品お披露目会に向けて、プレゼンテーションを学びを活かし、作成することができる。 【知】:試験販売に向けて、企画書の内容を踏まえ、商品を安定的に生産することができる。	【思】 (1) ノート確認 (2) 授業プリント
12	6	・商品お披露目会の準備 ・商品お披露目会		○	○	【態】:商品お披露目会に向けて、プレゼンテーションに興味・関心を持ち、今までの学びを踏まえ作成に取り組むことができる。 【思】:商品お披露目会でプレゼンテーションを適切に行うことができる。	【技】 (1) 制作物 (2) 授業プリント 【知】 (1) 小テスト
1	6	・1年間の学習のまとめ	○			【知】:1年間の学びを踏まえ、まとめを作成することができる。	

2.3学年シラバス作成	単位数	¥¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥O令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。	副教材
	3		なし

1 学習の到達目標
 ①数学的活動を通して数学に関心をもち、数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ②数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ③事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。

2 評価の観点・方法・・・評価は次の4観点から行います。

評価の観点	評価規準	配分(%)
①関心・意欲・態度	数学的なものの見方や考え方に興味を持ち、自ら進んで学習しようとしている。 数学的なものの見方や考え方を認識し、活用しようとしている。	20
②思考・判断・表現	事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 「1 学習の到達目標」、「2評価の観点・方法」は現在のシラバスのデータをそのままご活用ください。	30
③数学的な技能	事象を数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 よりよく問題を解き、適切な解答を導くことができる。	30
④知識・理解	基本的な事項(法則・公式)を理解している。 数量、図形などに関する基礎的な知識を身につけている。	20

3 年間学習計画
 評価の観点→【関】:関心・意欲・態度、【考】:数学的な見方や考え方、【技】:数学的な技能、【知】:知識・理解

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解					【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。	行動観察 ノート
5	7	2節 実数 1 実数	○	○			【知】:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
6		2 不等式の性質 3 1次不等式	○	○		○	【技】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 【考】:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【関】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合					【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	○	○			【知】:2次関数の性質やグラフの描き方を理解している。	行動観察

※評価の観点は各教科で異なりますので、ご注意ください。欄が足りない場合は適宜追加してください。

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点到○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
農業経営	2	3年・生産科学科	農業経営 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 6	16	1章 農業の動向と農業経営 ・日本と世界の農業 ・農業経営の動向 ・食料消費の動向と社会経済環境 ・食料農業農村制裁と関係法令	○		○	【知】:農業の動向と農業経営について理解するとともに関連する技術を身に付けている。 【態】農業の動向と農業経営について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
6 7	12	2章 農業のマネジメント ・農業マネジメント ・生産マネジメント ・組織マネジメント ・会計マネジメント	○	○		【知】:農業のマネジメントについて理解するとともに関連する技術を身に付けている。 【思】:農業のマネジメントに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。	【知】 (1) 小テスト (2) 授業プリント
8 9	12	3章 農業のマーケティング ・マーケティングの概要 ・マーケティング戦略 ・農産物のブランド化		○	○	【思】:農業のマーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:農業経営とマーケティングについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	【思】 (1)レポート (2) 授業プリント
10 11	16	4章 農業経営のマーケティング活動 ・市場調査と環境分析 ・調査分析の進め方 ・農業経営の設計と診断	○	○		【知】:農業のマーケティング活動について理解するとともに関連する技術を身に付けている。 【思】:農業のマーケティング活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。	【態】 (1) 授業態度 (2) 提出物ト (3) 自由記述 (4) 行動観察
12 1	14	5章 農業経営・マーケティングの実践		○	○	【思】:農業経営とマーケティングの実践に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:農業経営とマーケティングの実践について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	

2.3学年シラバス作成	単位数	¥¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥O令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。	副教材
	3		なし

1 学習の到達目標
 ①数学的活動を通して数学に関心をもち、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ②数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ③事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。

2 評価の観点・方法・・・評価は次の4観点から行います。

評価の観点	評価規準	配分(%)
①関心・意欲・態度	数学的なものの見方や考え方に興味を持ち、自ら進んで学習しようとしている。 数学的なものの見方や考え方を認識し、活用しようとしている。	20
②思考・判断・表現	事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 「1 学習の到達目標」、「2評価の観点・方法」は現在のシラバスのデータをそのままご活用ください。	30
③数学的な技能	事象を数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 よりよく問題を解き、適切な解答を導くことができる。	30
④知識・理解	基本的な事項(法則・公式)を理解している。 数量、図形などに関する基礎的な知識を身につけている。	20

3 年間学習計画
 評価の観点→【関】:関心・意欲・態度、【考】:数学的な見方や考え方、【技】:数学的な技能、【知】:知識・理解

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解					【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。	行動観察 ノート
5	7	2節 実数 1 実数	○	○			【知】:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
6		2 不等式の性質 3 1次不等式	○	○		○	【技】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 【考】:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【関】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合					【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	○	○			【技】:2次関数の性質を基に2次関数を解く方法を考察することができる。	行動観察

※評価の観点は各教科で異なりますので、ご注意ください。欄が足りない場合は適宜追加してください。

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点到○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
野菜	3	3年 生産科学科 園芸コース	野菜 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 5	24	野菜の栽培と管理・評価 葉や茎を利用する野菜の育苗 ・育苗の目的と方法 ・育苗技術の実際と応用	○	○	○	<p>【知】:野菜苗の育苗方法に関する基礎的な知識を身に付け、各育苗方法の特徴について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思】:育苗技術の実際と応用について課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的根拠に基づき創造的に解決している。</p> <p>【態】:育苗の意義と良苗の条件について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 単元テスト 実習の取組
5 ～ 10	48	野菜の特性と栽培技術 葉や茎を利用する野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 ・野菜の生育と生理 ・野菜の栽培環境と生育の調節	○	○	○	<p>【知】:生育特性と栽培環境の調節に関する基礎的な知識を身に付け、各生育や生理の特徴について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思】:栽培環境と生育調節の実際と応用について課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的根拠に基づき創造的に解決している。</p> <p>【態】:生育特性や栽培環境について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 単元テスト 実習の取組

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 1	24	栽培環境と生育の調節 葉や茎を利用する野菜の栽培 GAPに関する学習	○	○	○	【知】: 野菜の栽培方法や持続可能性に関する基礎的な知識を身に付け、各栽培方法の特徴について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】: 持続可能な栽培技術の実際と応用について課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的根拠に基づき創造的に解決している。 【態】: 持続可能性に配慮した野菜栽培条件について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	ワークシート 単元テスト 実習の取組
10 ～ 1	9	野菜の生産と経営 野菜の流通と経営改善 ・野菜の流通と鮮度維持 ・野菜生産の経営改善	○	○	○	【知】: 野菜の流通に関する基礎的な知識を身に付け、流通の特徴について理解している。 【思】: 野菜生産の経営に関する地域的な課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的根拠に基づき創造的に解決している。 【態】: 野菜の経営改善に関する方策について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	ワークシート 単元テスト 実習の取組

野菜に関する諸課題について興味関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけ

野菜に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的知識と技術を基に、農業に携わるものとして適切に判断し、表現す

野菜に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、野菜に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。

野菜に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の意義や役割を理解している。

ている。

る創造的な能力を身につけている。

2.3学年シラバス作成	単位数	¥¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分掌¥教務部¥O令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありますので、コピーしてご活用ください。	副教材
	3		なし

1 学習の到達目標
 ①数学的活動を通して数学に関心をもち、数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ②数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を論理的に表現し、事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。
 ③事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。

2 評価の観点・方法・・・評価は次の4観点から行います。

評価の観点	評価規準	配分(%)
①関心・意欲・態度	数学的なものの見方や考え方に興味を持ち、自ら進んで学習しようとしている。 数学的なものの見方や考え方を認識し、活用しようとしている。	20
②思考・判断・表現	事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 「1 学習の到達目標」、「2評価の観点・方法」は現行のシラバスのデータをそのままご活用ください。	30
③数学的な技能	事象を数学的に表現し、処理する技能を身につけている。 よりよく問題を解き、適切な解答を導くことができる。	30
④知識・理解	基本的な事項(法則・公式)を理解している。 数量、図形などに関する基礎的な知識を身につけている。	20

3 年間学習計画
 評価の観点→【関】:関心・意欲・態度、【考】:数学的な見方や考え方、【技】:数学的な技能、【知】:知識・理解

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解					【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。	行動観察 ノート
5	7	2節 実数 1 実数	○	○			【知】:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
6		2 不等式の性質 3 1次不等式	○	○		○	【技】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 【考】:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【関】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合					【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	○	○			【知】:2次関数の性質やグラフの描き方を理解している。	行動観察

※評価の観点は各教科で異なりますので、ご注意ください。欄が足りない場合は適宜追加してください。

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点到○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
草花	3	3年 生産科学科 園芸コース	草花 (実教出版)	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 8	22	オリエンテーション 第3章 草花の特徴と栽培技術 2 品種改良と繁殖 草花の品種と品種改良 品種改良の手順と方法 草花の繁殖方法 種子繁殖 栄養繁殖 3 草花の生育と栽培技術 草花の生育と土・水・肥料 草花の栽培管理	○	○	○	【知】:草花生産の特性と栽培技術について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:草花生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:草花生産の特性と栽培技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		鉢もの生産 1 鉢ものの生産の特色 経営的特色 栽培管理の特色 2 鉢ものの生産資材と商品化技術 鉢の種類 用土 水と肥料 鉢ものの用途と商品化技術 3 鉢花 鉢花の種類と栽培上の特性	○	○	○	【知】:草花の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】:草花の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】:草花の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 12	48	第4章 切り花生産 1 切り花生産の特色 切り花生産の経営と栽培の特性 切り花の種類と特性 切り花の栽培と商品化 2 切り花の品質保持 切り花の品質変化 切り花の品質管理技術 品質保持剤	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知】: 草花の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】: 草花の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】: 草花の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		プロジェクト学習 テーマ「バイオ炭を利用したデルフィニウム栽培における生育調査(継続)」 栽培管理(播種, 定植, 防除, 葉かき, 採花, 調整, 箱詰め) プロジェクトの記録・整理 プロジェクトのまとめ プロジェクトの発表	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知】: 草花生産と経営に関するプロジェクト学習の意義や進め方について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】: 草花生産と経営に関する課題を発見し、プロジェクト学習により科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】: 草花生産と経営について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート
10 ～ 1	17	第7章 草花経営の改善 1 生産と流通の改善 生産の課題と改善 流通の課題と改善	○ ○	○ ○	○ ○	【知】: 草花の生産と経営の実践について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】: 草花の生産と経営の実践に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 【態】: 草花の生産と経営の実践について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

1 学年シラバス作成例	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実数出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学の基礎的な概念や原理・法則を体系的に理解的に表現・処理したりする技能を身に付けるように目指す。

学習指導要領の各科目に記載している「1 目標」をコピー＆ペースト

①数
する
にす
②命
要素
的

¥SHIZUNO-SV3¥静内農業 (shizuno-sv3)¥02 各分
掌¥教務部¥令和3年度¥教務係¥06_教科¥02_シ
ラバス¥R4シラバス にこのデータの原本がありま
すので、コピーしてご活用ください。

の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

に応じて適切に変形したりする力、図形の構成を考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校編) を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
5	7	2節 実数				数を実数まで拡張する意義を理解すると、簡単な無理数の計算をすることができる。	行動観察 ワークシート 定期考査
6	6	3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思】:1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:2次関数の値の変化やグラフの特徴に	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。(文字の大きさ、セルの幅等)

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～している。」及び「～できる。」に統一してください。「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しようとしている。」に統一してください。

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一して行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
馬学	3	3年 生産科学科 馬事コース	馬学(JRA・JBBA)	JRA育成牧場管理指針

1 科目の目標

馬の飼育と馬産業の経営に関する課題を発見し、農業や馬産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

①馬の飼育に関する基礎的な知識を身に付け、馬の特性と飼育環境やその飼育に必要な環境や取り扱いの重要性を理解している。また、健全な馬の飼育における飼養管理の重要性とについて理解し基礎的・基本的な技術を身につけるようにする。

②馬の特性や飼育環境の保全など馬を生産し、育てる環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を養う。

③馬の飼育について興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度や創造性を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9 ～ 11	10	馬体の作りとはたらき ○運動器のつくりとはたらき 競走馬の管理 ○健康管理	○	○		【知】:馬の生態に関する馬の体について理解し、馬の飼養管理に必要な知識を得ようとしている。 【思】:馬の生態や身体の仕組みを理解し、状況に応じ適切に判断している。	実習レポート 単元テスト
4 ～ 10	35	1歳馬の馴致と販売 ○日常の躰と管理 ・手入れの仕方 ・トリミング ・保定法 ○引き馬と展示 ・引き馬 ・馬の展示 ・相馬 ○セール上場 ・売却までに掛かる経費とお代 ・セールの仕組み ・売却 ・追跡調査 ・輸送 ・セリ名簿 ・法律・登録・保険に関わること ○後期育成	○	○	○	【知】:馬の馴致に関する知識を身に付け、馴致、販売までの仕組み、方法を理解し、その技術を適切に表現している。 【思】:1歳馬の馴致に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】:1歳馬の馴致と販売について興味・関心をもち、1歳馬の馴致に必要な道具の使い方について探求しようとしている。	ワークシート 実習レポート 単元テスト 実技

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
11 ～ 1	10	競走馬の配合 ・種牡馬について ・血統表について	○	○		【知】競走馬の配合を理解し、配合についてそれぞれのルールについて理解している。 【思】：競走馬の配合を知ることによって、経営を考えた場合に軽種馬育成には何が必要かを適切に判断している。	プレゼン
8 ～ 12	15	競馬産業 ○日本の競馬産業 ○海外の競馬産業 ・欧米の競馬産業 ・ヨーロッパの競馬産業	○	○		【知】：競馬産業について理解し、その知識を活用した経営方法を模索しようとしている。 【態】：競馬産業について理解し、競馬産業に関して興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	レポート 単元テスト
4 ～ 1	35	馬の飼養管理 ○厩舎・衛生管理 ○馬の生育調査 ○放牧地・牧草の管理 ★プロジェクト学習 「1歳馬の飼養管理」についてテーマを設定して研究を行い、成果を発表する。	○	○	○	【知】：馬の飼養管理に関する放牧地の管理方法の必要性を理解し、適正に行うための技術を習得している。 【思】：馬の飼養管理を行う目的を理解し、馬が安全で快適に過ごせる環境作りについて考えることができている。 【態】：馬の飼養管理について興味・関心を持ち、厩舎内外の環境を整える必要性を理解し、意欲的に取り組もうとしている。	実習レポート 発表

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
馬利用学	3	3年 生産科学科 馬事コース	馬術(JRA・JBBA)	馬学(JRA)

1 科目の目標

馬の利用に必要な知識と技術を習得させ、馬の特性や飼育環境を理解させるとともに、実践的な馬の利用法及び関連分野で応用する能力と態度を育てる。

①馬利用に関する基礎的な知識を身に付け、馬の特性と取り扱いの重要性を理解している。また、乗馬の基礎的・基本的な技術を身につけるようにする。

②馬利用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を養う。

③馬の飼育について興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度や創造性を養う。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 1	30	【厩舎と農場の環境】 ・厩舎管理 ・放牧地管理 ・牧草収穫	○	○	○	【知】厩舎や農場の管理に関する基本的な知識が身に付けている。 厩舎の管理について、基本的なスキルが身に付いている。	実習評価 実習記録野帳 単元テスト 実習評価
						【思】厩舎管理の流れを理解し、自分1人で作業を終わらせることができる。 厩舎や農場の管理について、グループの中で自分の意見を表現することができる。	
						【態】厩舎や農場の環境について、興味や関心を持ち、よりよい飼育環境について探究している。 座学で得た知識をリンクさせ、厩舎や農場の在り方について考えることができる。	
12 ～ 1	10	【馬の利用】 ・馬を活用したスポーツ ・馬術競技 ・ブリティッシュ馬術 ・馬場馬術競技 ・障害飛越競技 ・総合馬術競技 ・ウエスタン馬術 ・パラ馬術	○	○	○	【知】馬術競技についての基本的な知識を身に付けている。	授業プリント 実習記録野帳 単元レポート
						【思】馬術競技について思考を深め、自分自身の考えを適切に表現している。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
7 ～ 9	10	【馬の体の構造】 ・馬の骨格と筋肉 ・下肢部の腱、靭帯 【馬の馴致】 ・セラピー馬の馴致	○		○	【知】 馬体の作りと働きに関する基本的な知識を身に付けている。 【態】 セラピー馬の馴致(順化と鈍化)実習について、班員と協力し、意欲的に取り組むことができる。	授業プリント 単元テスト 実習評価 実習記録野帳
4 ～ 11	20	【乗馬療育】 ・乗馬療育の歴史 ・乗馬療育の方法 ・乗馬療育の効果 ・乗馬療育の計画 ・乗馬療育に向けた馬の馴致 ・乗馬療育の実践 ・乗馬療育の改善 ★プロジェクト学習 「乗馬療育」をテーマに実践を含めた研究を行い、成果を発表する。 (昨年度はペテカリの園分校とのホースセラピーが題材)	○	○	○	【知】 乗馬療育に関する基本的な技術を身に付け、適切に活用している。 【思】 乗馬療育について思考を深め、自分自身の考えを適切に表現している。 【態】 乗馬療育について興味・関心を持ち、よりよい乗馬療育について探究しようとしている プロジェクト学習に積極的に取り組むとともに、聴衆に学習成果をしっかりと伝えることができる。	実習評価 実習記録野帳 単元レポート 科目プロジェクト
4 ～ 1	35	【乗馬】 ・乗馬前後の馬の手入れ ・馬の3種の歩法 ・基本馬具 ・装鞍と脱鞍 ・ハミの着脱 ・馬具の手入れ ・乗馬と下馬 ・乗馬の基本姿勢 ・馬体の動き ・扶助 ・馬上体操	○	○	○	【知】 乗馬前後の手入れや馬装を一人で行うことができる。 【思】 自らの乗馬技術について思考を深め、技術向上に向けて考えることができる。 【態】 乗馬について興味・関心を持ち、よりよい乗馬方法について探究している。	授業プリント 実習評価 実習記録野帳 実技試験 単元テスト

別紙1 1学年シラバス作成例		学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学 I (実教出版)	なし

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう

※shizuno-sv3 静内農業 (shizuno-sv3) 02 各分掌
教務部 R6 02 教務に関すること 04 シラバスに
関すること に昨年度資料がありますので、コ
ピーしてご活用ください。

目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成
的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象
付けて考察する力、社会の事象などから設定した問
題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解
決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり

国立教育政策研究所教育課程研究センター
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参
考資料(高等学校編)を参考にして作成してください。

2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	1章 数と式 1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。 【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよ 識し、問題解決にそれらを活用しようとし り強く考え数学的論拠に基づき判断し ている。	行動観察 ノート ワークシート 小テスト 朝学習 定期考査
6	8	1 実数 2 根号を含む式の計算	○			【知】:実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 【思】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【態】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することが できる。	行動観察 ワークシート 定期考査
		3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することが できる。	行動観察 ノート ワークシート 朝学習 定期考査
7	10	2章 集合と論証 1 集合				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	ワークシート 定期考査
8	10	3章 2次関数 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴に をかねとして多面的に考察することが できる。	行動観察

「評価の観点」の欄を設けました。各単元で評価する
観点に○をつけたうえで、単元の評価規準を記載して
ください。

「知識・技能」「思考・判断・表現」では文末を「～してい
る。」及び「～できる。」に統一してください。
「主体的に学習に取り組む態度」では文末を「～しよう
としている。」に統一してください。

その他の微調整は、各教科でお任せします。
(文字の大きさ、セルの幅等)

セルを結合して作成する場合は「両端揃え」を統一し
て行ってください。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9							
10							
11							
12							
1							
2							
3							